

経営方針

1. 経営の基本方針

当社グループは、同一理念のもと、経営諸資源を一体的かつ効率的に活用し、コストとリスクの最小化に努めながら、総合的な収益力・財務体質を強化し、企業価値の総和の最大化構築に取り組んでまいります。

当社グループの経営基盤を強化する一方、全国13箇所の当社関連セメント工場については、従来のセメント生産に加え、大量の廃棄物を受入れ再資源化するという新たな社会的役割を担ってまいります。これにより環境保全に配慮した21世紀の資源循環型社会の実現に貢献し、企業価値の一層の増大に努めてまいります。

2. 利益配分に関する基本方針

当社グループは、長期にわたる経営基盤、とりわけ財務体質の強化を経営の優先課題として取り組み、将来的にも安定配当を継続してまいりたいと考えております。

一方、企業の競争力を維持し、業績向上を図るため、時機を得て投資を行う源泉として、内部留保もまた不可欠であります。

安定配当の維持と内部留保充実のため、より一層の経営基盤強化に努めてまいります。

3. 中期的な経営戦略と対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては民需の低迷に加え、公共投資縮減によるセメント関連需要の減少が必至であり、更に国内外でグローバルな企業間競争が激化する傾向にあることから、厳しさを一段と増すものと予想されます。

このような事態に対して当社は、新たに当社単体とグループ各社を包括した今後3年間のグループ中期経営計画である「太平洋04中期経営計画」を策定いたしました。今後は本計画に基づき、資産の圧縮など資産効率改善と総コストの削減を柱とする収益構造の改善に努め、グループ全体のROA(総資産経常利益率)の向上と、得られたフリーキャッシュフローで有利子負債の削減(財務構造の改善)を図り、環境変化に耐え得る事業構造の構築を進めてまいります。

「太平洋04中期経営計画」の概要

(1) 計画期間 2002年度～2004年度までの3年間

(2) 最終年度計画値

項目	2004年度計画値
連結売上高	9,827億円
連結経常利益	535億円
連結純利益	216億円
連結総資産	14,765億円
ROA(総資産経常利益率)	3.6%
連結有利子負債残高	8,012億円

(3)各事業計画方針

セメント

(a)国内セメント事業

リサイクル資源活用拡大による原価低減と事業規模に対応した固定費削減、販売数量減少による売上高・利益減少に対応したコスト削減

(b)海外事業

既存の投資事業と輸出事業の基盤強化・収益力アップ 他
資源

グループ全体の経営資源の有効活用を図り、収益の改善・資産の効率化を推進
建材・建築土木

(a)建材事業

生産・物流・販売体制の効率化、不採算事業の見直しにより既存事業の抜本的再建推進と新規事業分野への展開

(b)生コン事業

総体的に縮小する生コン市場において、経営の効率化・合理化を進め、各地域トップクラスの収益性の実現

不動産

安定収益の維持確保、経営資源の最有効活用、グループ各社へ不動産活用のノウハウ提供
その他

(a)ゼロエミッション事業

短期に利益を実現できる事業への集中、セメント資源化に止まらない事業領域への検討

(b)セラミックス・エレクトロニクス事業

長期的成長が期待できるIT関連業界に密着し、グループ各社の技術の組み合わせによる売上の拡大と収益の向上

(c)発電事業

系魚川IPPの計画収益確保と大船渡・土佐IPPの工事計画遂行

(4)事業構造改善対策

総コストの削減(単体ベース)

変動費の低減、固定費の削減 約190億円

(退職給付債務の数理計算上差異償却増36億円を含む)

人員計画

中期経営計画期間内にグループで1,500名の削減

セメント生産体制の見直し

佐伯工場の2基運転を1基運転体制へ(2002年4月より5号機休止)

大船渡工場2基運転を1基運転体制へ(2003年4月より1号機休止予定)

(5)財務構造の改善目標

連結有利子負債を3年間で1,000億円削減(単体で400億円削減)

収益構造の改善(売上原価低減、販管費抑制他)

固定資産圧縮(不動産・有価証券等の売却、投融資の抑制他)

流動資産圧縮(債権流動化促進、手持現預金・棚卸資産圧縮他)

(6) ITによるグループ経営管理の導入

太平洋セメントグループ内にIT活用のネットワーク網が完成、これを活用し管理上の大小14セグメントによるP/L、C/F、B/Sの財務三表管理と中期経営計画のフォローを行う。加えて最新の有利子負債情報や不動産・有価証券情報を収集し、グループ全体のROAの向上や有利子負債削減を進めていく。

以上、「太平洋04中期経営計画」を円滑に進め、実効あるものにするために、社内に九つの事業セグメント別分科会とグループ全体を横断的に取り組む五つの機能別分科会を設置し、精力的に取り組んでまいります。